

事業者排出量削減計画書

		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 変更					
(宛先) 京都府知事		平成23年 9月28日					
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 〒624-0906 京都府舞鶴市宇倉谷660		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 日之出化学工業株式会社 代表取締役社長 高木 静雄 電話 0773-75-1450					
主たる業種	燐酸質肥料製造業	細分類番号	1 7 1 1				
事業者の区分	京都府地球温暖化対策条例施行規則	第15条第1項第1号 第15条第1項第2号又は第3号 第15条第1項第4号					
計画期間	平成23年4月から平成26年3月まで						
基本方針	省エネ推進により年間1%以上のエネルギー原単位改善必達を目標とすると共に、環境マネジメントシステム認証取得により管理を徹底する。						
計画を推進するための体制	社長を最高責任者とする環境マネジメント組織において、定期的に環境委員会を開催し、実績評価や対策検討を実施する。						
温室効果ガスの排出の実績及び削減の目標	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (20~22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	増減率	
	事業活動に伴う排出の量	15,965.0 トン	19,096.0 トン	19,654.7 トン	19,134.1 トン	20.9 パーセント	
	評価の対象となる排出の量	16,979.5 トン	19,096.0 トン	19,654.7 トン	19,134.1 トン	13.6 パーセント	
目標の根拠		計画期間(3ヵ年)でエネルギー原単位をH22年度比5%改善(第1年度で2%、第2年度で3%、第3年度で5%)を目標とし、温室効果ガス排出原単位を改善する。また、東北震災の影響を受けて、H23年度よりライン稼働率UPによる増産を計画しており、温室効果ガス排出量は増加する見込みである。					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	増減率
	工場	事業活動に伴う排出の量 合成生産量(T)×1/10	3.57	3.45	3.43	3.38	-4.63 パーセント
		事業活動に伴う排出の量 ()					パーセント
原単位の指標及び目標の根拠		製造、加工 各工程ごとの生産量に既定の係数を乗じて合算した合成生産量を基準とする。原単位指標は、エネルギー原単位改善目標を基準に算出。					
重点的に実施する取組の実施計画		基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	備考	
		11.0 パーセント	46.0 パーセント	73.0 パーセント	88.0 パーセント		
具体的な取組及び措置の内容	(23)年度	KES認証取得準備、熔解炉排ガスファン省エネ、原料粉碎分級機モーターのインバーター化 他					
	(24)年度	KESステップ2認証取得、インバーターコンプレッサ増設、熔解炉急冷ポンプの小型化 他					
	(25)年度	動力トランス高効率タイプに更新、照明・空調設備の省エネ 他					
通勤における自己の自動車等を使用することを控えるために実施しようとする措置	措置の内容	近隣在住の従業員に対し、徒歩・自転車通勤を口頭にて推奨している程度。					
	上記の措置を採用する理由	公共交通手段が不便で最寄り駅が遠い、3交替勤務者が多い、等の理由により、具体的措置の検討が困難である。					
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減する量	区 分	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	備考		
	森林の保全及び整備によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	府内産の木材の利用によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	グリーン電力証書等の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	温室効果ガス排出量の削減効果分又は温室効果ガスの吸収効果分の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
合 計	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	KESステップ2認証取得の準備として廃棄物の管理を強化。H23年度は前年度比10%削減を目標に、リサイクルの推進、梱包の簡易化や納入業者への廃棄物引き取り強化等を実施中。						
特 記 事 項	熔解炉の燃料にCO2排出量の多いオイルコークスを使用している。						

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
 2 「細分類番号」とは、統計法第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の三年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。
 4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。